



Matsunaga Head Line News

[マ ツ ナ ガ ・ ヘ ッ ド ラ イ ン ・ ニ ュ ー ス]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感 動 創 造 建 設 会 社

2024年5月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp



2024 May Vol.54

C O N T E N T S

[PROPERTY] 竣工物件

- P2 学校法人 開智学園 国際バカロレアの教育に必要な校舎をゼロから作り出す
- P3 松永建設が健康経営優良法人 2024 に認定されました
- P4 仮称)エルシード王子Ⅲ新築工事／金町クリニックビル
- P5 ペル クルール／一般国道122号蓮田岩槻バイパス並木工区道路改良工事

[TOPICS] トピックス

- P6 入社式／ラジオCM／社長少年

世界へ羽ばたく
グローバル
人材を育む



INTERVIEW [インタビュー&竣工物件]

国際バカロレアの教育に必要な校舎をゼロから作り出す

学園法人 開智学園

青木
徹
様

Toru Aoki
学校法人 開智学園 理事長

PROFILE [プロフィール]
1947年生まれ。
東京学芸大学卒業後は音楽科教員と
なり、96年に埼玉第一高等学校の学
校法人理事に。2022年から埼玉県私
立中学高等学校協会会長を務める。

小・中・高の一貫教育に最高の校舎とは

開智所沢小学校・中等教育学校は、開智学園のグループ校として2024年4月に開校しました。その目的は、「国際バカロレアの教育を取り入れながら、小中高一貫の教育を行う」こと。開智学園では小学生の頃から教師と生徒が対話型の授業を行い、生徒が自律的に物事を考える“探求型の学習”を提供しています。その理念に通じるものとして、開智学園が目指していたのが国際バカロレアです。9年間の学習過程を小・中・高校の3カテゴリではなく、独自の4カテゴリに分類し、それぞれの過程でグローバルな人材に不可欠なスキルを身に付けさせる。そのためには、教育プログラムにマッチする校舎が必要でした。

この校舎を新設するために、開智学園では所沢で用地の取得を進めるとともに、県や国に校舎の建設に必要な手続きを申請。ただ、その許可に時間がかかったことと、東京オリンピックに伴う建設需要の増加で建築費用の値上がりが予想されたことから、着工は五輪閉幕後に行うことにしました。そのため、校舎の完成までには着想から実に20年近くの年月を要しましたが、青木理事長によると、それがプラスに働いた面もあったようです。

「全教室にプロジェクターを配置し、ネットワーク環境を整備するなど、ICT教育に対応するための設備を整えることができました。授業を行う教員についても、時間をかけて集められたので、目指すべき教育に向けて万全の体制が

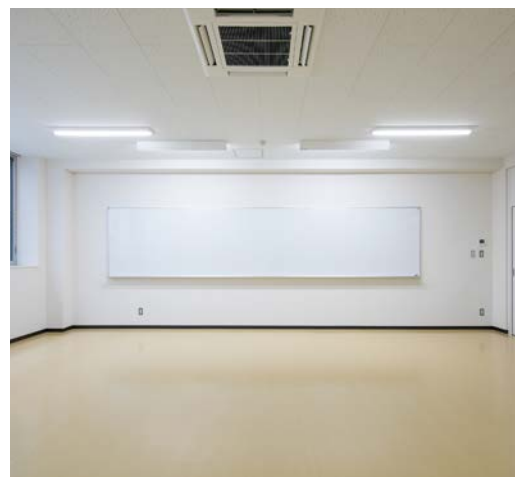
整えられたんです」(青木理事長)

教室数は2倍! さらに6つの理科室も

所沢校の建設工事にあたり、松永建設では“国際バカロレアの教育を行うための理想の校舎”に必要な要件を、一つ一つ形にしていきました。小学1～5年の生徒と一緒にホームルームを行うための専用の教室。一人一人が異なるテーマで実験を行うための6つの理科室。空調を完備して、拡張性のある広さを確保した体育館。360席まで配置でき、音響にもこだわった視聴覚室。外からどの先生が居るかがわかり、コミュニケーションも取りやすい広々とした職員室など……。さらに、4つの教育課程に合わせて生徒の居る場所をゾーニングするために、各課程で利用する教室を1～4階までの4つのフロアに分けて配置しました。

「職員室もPYP(小学1～5年生相当)のものは、玄関に入っ
てすぐの場所に配置し、登校時には互いの顔が見えるようにしました。他にも、エレベーターは救急車のストレッチャーを搬入できるサイズにするなど、教員も含めた全員でアイデアを出し合い、それを松永建設さんにリクエストしていったんです」(青木理事長)

青木理事長によると、所沢校には目指すべき教育に向けて、必要となる施設が全て詰め込まれているそうです。近い将来には所沢から世界へと、グローバルな人材が羽ばたいていってくれることでしょう。



▶ 開智所沢小学校・中等教育学校 ◀

〈 発注者 : 学校法人開智学園 様 〉

DATA

□ 建設地: 埼玉県所沢市大字松郷169番の一部他36筆 □ 規模/構造: 地上4階/S造
□ 建築面積: 9,149.43㎡ □ 延床面積: 19,225.42㎡

INTERVIEW [インタビュー]

松永建設が健康経営優良法人2024に認定されました



2024 健康経営優良法人

Health and productivity

社員の健康増進に会社一丸となって取り組む

松永建設が中小規模法人部門における「健康経営優良法人2024」に認定されました。これは、NPO法人健康経営研究会が“特に優良な健康経営を実践している企業”を1年ごとに顕彰したもので、その存在を企業の内外に“見える化”するために行われているものです。

松永建設ではこれまでストレスチェックや「健康関連アンケート調査」の実施とともに、健康メルマガの配信、健康経営アドバイザーの有田直美氏による健康チェックイベント、蔵多のり子保健師による「健康相談窓口」や「健康講座」など、健康経営に向けた様々な取り組みを行ってきました。さらに、今年の1月には松永大祐社長が、YouTubeにて「健康宣言」を行っています。

「社員の皆様の健康があって、初めて健全な経営ができるという観点から健康管理を経営に取り入れていかなければいけません。当社ではここに健康経営に積極的に取り組んでいくことを宣言します。社員の健康促進を会社で行うことで、社員の活力向上や生産性の向上、組織の活性化などが期待されます。普段からモニタリングを行うことで、社員のみんなが安心して働ける職場を作っていきたいと思います」(松永大祐社長／健康宣言より)

この「健康宣言」にもあった生活習慣病などの重症化を予防するものとして、今後は「チャレンジ健康改善ラリー」という新たな取り組みも行っていく予定です。具体的には健康診断で“再検査の必要性がある”と判断された社員には未病ヘルスチェックを実施し、さらに全体



健康経営コンサルタント
有田直美

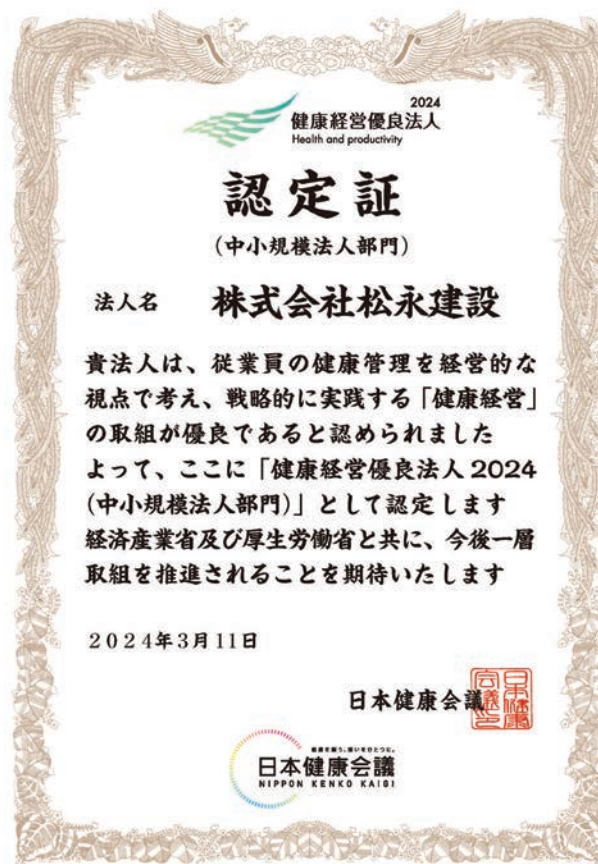
PROFILE [プロフィール]

健康経営アドバイザー。未病診断士。一般社団法人MNCリレーションズのCOO。2021年、内閣府が推奨する「ジャパンレジリエンスアワード」にて、人づくり部門【優良賞】受賞。

施策として、「ジョギングの距離」や「体重・体脂肪率」、「タバコの本数」というように数値化された目標を設定。一人一人が健康に向けた活動を楽しみながら行っていけるような環境づくりを進めています。

人材不足と高齢化の時代に必要なこと

健康経営アドバイザーの有田氏によると、この人材不足と言われる時代にあって、就活生は企業を選ぶうえで「健康的に働けるか?」という点を重視しているようです。その中で企業が戦略的に従業員の健康をマネジメントすることを経産省が主導するようになり、認定制度が生まれるなど、「健康経営」というキーワードが世間一般に広く知られるようになりつつあります。



▲2024年3月11日、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)」に松永建設が認定された

「日本では2015年に労働力人口の平均年齢が45歳を超えてしまいました。その中で懸念されているのが、高齢化した従業員の健康リスクです。身体に何らかの不調を抱えていると、日々の業務のパフォーマンスが上がりずに生産性が低下してしまいます。これを『相対的プレゼンティーズム』と呼んでいるのですが、健康リスクが高い人／低い人を比較すると、労働生産性における損失コストが約3倍も違うというデータがあるんです。そのコストは医療費や病気休業にかかる費用よりも多いため、今後は人材投資を考える上で、健康リスクの管理が重要なポイントになってくでしょう」(有田氏)

健康メルマガの配信や健康講座を行うようになってから、社内では「いつの間にか健康について詳しくなれた」という声が聞かれるようになりました。「健康経営優良法人」は毎年評価が行われるため、一度認定されたら終わりというものではありません。ただ、社員の一人一人が健康への意識に芽生え、今後も健康への取り組みを継続していったなら――。近い将来には「社員が健康であること」が、松永建設では当たり前のことになっているかもしれません。

健康経営優良法人としての
取り組み事項

- 1 全従業員のヘルスリテラシー向上を目的とし外部保健師による「健康講座」を実施
- 2 健康リスクへの理解を深め、意識向上の為ポスターなどによる啓蒙促進を実施
- 3 ストレスチェックの実施
- 4 保健師・管理栄養士による「健康相談窓口」を設置
- 5 健康経営アドバイザーによる「健康チェックイベント」の実施。健康課題の把握～改善
- 6 従業員「健康関連アンケート調査」の実施・課題把握～分析～改善



蔵多のり子
保健師からの一言

PROFILE [プロフィール]

渋谷保健所に保健師として勤務。その後、一般企業の広報宣伝部、マーケティング部を経て、2017年に代謝美容・未病サロンを開設。2021年2月には一般社団法人まちの保健室を開業。

毎月健康セミナーを行わせて頂いておりますが、皆さま大変熱心に聞いてくださいます。毎月この時間を取られるのは企業として、とても素晴らしいと感じています。社長の社員さまに対する健康への気遣いが本気です。そのお気持ちにお役に立ちたいと考えて社員の方々に向かい合っております。

PROPERTY [竣工物件]



▶ (仮称)エルシード王子Ⅲ新築工事 ◀

〈 発注者:株式会社THEグローバル社 様 〉

D A T A

- 竣工年月:2023年12月
- 規模/構造:6階建/RC造
- 延床面積:4791.12㎡
- 所在地:東京都北区王子



▶ 金町クリニックビル ◀

〈 発注者:天沼利時 様 〉

D A T A

- 竣工年月:2023年12月
- 規模/構造:3階建/鉄骨造
- 延床面積:855.03㎡
- 所在地:東京都葛飾区金町

PROPERTY [竣工物件]



▶ ベル クルール ◀

〈 発注者：青木生花有限会社 様 〉

DATA

- ☐ 竣工年月:2024年1月
- ☐ 規模／構造:9階建／RC造
- ☐ 延床面積:148.11㎡
- ☐ 所在地:埼玉県さいたま市浦和区北浦和



▶ 一般国道122号蓮田岩槻バイパス並木工区道路改良工事 ◀

〈 発注者：さいたま市 様 〉

DATA

- ☐ 竣工年月:2024年3月
- ☐ 工事内容:道路改良工事
- ☐ 工事場所:さいたま市岩槻区並木

TOPICS [トピックス]

令和6年度入社式を執り行いました。

4月1日に松永建設本社にて入社式を執り行いました。まるで初夏のような陽気のもと、松永建設グループの一員として5名の新入社員を迎え入れることができました。夢や希望を持ち、やる気で満ちあふれた新入社員とともに、社員一同新たな気持ちで邁進してまいります。



アクセスはこちら



ラジオCMをリニューアルしました！

FM NACK5(79.5MHz)にて月～金曜日の朝8時30分より放送中のラジオCMが、4月1日よりリニューアルいたしました。



アクセスはこちら

今回は、**まつけんRADIO**と称して、松永建設についての「想い」を松永建設社員が「生の声」でお届けしています。ぜひお聞きください！



／ 毎回**3万**回以上の再生回数を突破！／

YouTube大型シリーズ企画 「月刊 社長少年 ~Tomorrow Never Knows~」 大好評公開中！

今まで、さまざまな「景色をつくってきた」松永建設が、「あなたの心の景色」を豊かにします！次世代を担う人たちに向けて、明日頑張る元気や勇気を与える新シリーズ。「明日は決してわからない(Tomorrow Never Knows)」だからこそ、今日も諦めずに頑張る人たちを応援します。シリーズに登場するのは、少年のような夢を追いかけている魅力的な若手経営者やリーダーたち。

エピソード1は、「人をつなぎ街を磨く」をコンセプトに、不動産開発事業を中心とした様々な事業を展開している、株式会社ロイヤルコーポレーション 代表取締役 田島永一様が登場！

エピソード2は、「世界に一台しか無いカッコイイ台を。」をコンセプトに、車をお客様に向けてカーライフ全般をサポートする「bond」ブランドを全国に展開する、株式会社ホソカワコーポレーション代表取締役社長 細川恵多様が登場！

エピソード3は、1960年の創業以来「模範解答のない課題に挑み続ける。」をモットーに、国内のゴム切断機トップメーカーとして躍進を続ける、荻野精機製作所の三代目 代表取締役社長 荻野真也様が登場！

エピソード4は特別編として、史上最年少14歳で「日本女子アマチュアゴルフ選手権」優勝。19歳、アメリカでプロデビューを果たしたプロゴルファーの宮里美香様をお迎えしました！

エピソード5も引き続き特別編として、少年時代からの夢を叶えプロレーサーでありながらレーシングチームの監督、後進の育成に励む指導者として、モータースポーツ界を全力で駆け抜けている片岡龍也様をお迎えしました！

多くみなさまにご視聴いただき再生回数も上昇中！これからも少年のような夢を追いかけている魅力的な方々が登場します。乞うご期待！

Episode 1 ▶ 「株式会社ロイヤルコーポレーション 田島永一社長」篇

アクセスはこちら



Episode 2 ▶ 「株式会社ホソカワコーポレーション 細川恵多社長」篇

アクセスはこちら



Episode 3 ▶ 「株式会社荻野精機製作所 荻野真也社長」篇

アクセスはこちら



Episode 4 ▶ 「夢を叶える方程式 プロゴルファー宮里美香さん」

アクセスはこちら



Episode 5 ▶ 「夢を叶える方程式 プロレーサー片岡龍也さん」

アクセスはこちら

